

(案)

平成27年度第7回中原区区民会議

日時 平成28年1月25日(月) 14:00～

場所 中原区役所5階 503会議室

1 開催日時 平成28年1月25日(月)午後2時～3時45分

2 開催場所 中原区役所5階503会議室

3 出席者

(委員)板倉委員長、橋本副委員長、成田副委員長、井上委員、岩崎委員、梅原委員、尾木委員、梶川委員、園部委員、田中委員、塚本委員、長尾委員、仲亀委員、中森委員、仁上委員、萩原委員、松本委員、山崎委員

(参与)大庭参与、押本参与、川島参与、松井参与、川本参与、君嶋参与

(事務局)鈴木区長、小野副区長、鈴木課長、岩瀬担当部長、永山部長、大塚所長、蛭名副所長、南室長、高津所長、寺澤課長、村田担当課長

企画課：江口係長、塚本係長、大崎職員、澤村職員、西山職員

4 議題 (1)第7・8回課題調査部会及び第6回運営部会報告(公開)

(2)取組事項に係る経過報告について(公開)

(3)審議テーマ「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」について(公開)

(4)第5期区民会議市民報告会に向けて(公開)

(5)その他(公開)

5 傍聴者 1名

6 会議内容

午後2時 開 会

1 開会

司会 定刻になりましたので、ただいまから第5期第7回中原区区民会議を開催いたします。私は、本日の会議の議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます副区長の小野でございます。どうぞよろしく願いいたします。

ここで、会議に先立ちまして、御報告がございます。

第5期区民会議委員として御尽力をいただいております中原区商店街連合会副会長の石川喜久雄様が、昨年12月30日に急逝されました。お亡くなりになりました石川様に謹んで哀悼の意を表し、黙禱を捧げたいと存じますので、恐れ入りますが、皆様御起立をお願いいたします。

それでは、黙禱。

[黙禱]

司会 ありがとうございます。御着席をお願いいたします。

それでは、会議を進めてまいります。

山崎委員が少々遅れていらっしゃる予定でございますが、本日は過半数の委員に御出席をいただいておりますので、川崎市区民会議条例第6条第2項の規定によりまして、本

会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。

なお、本日の会議は会議公開条例に基づき公開で行われます。また、会議録を作成し、公開することとなりますので、御了承いただきたいと存じます。

なお、本日、市古参与、重富参与、原参与、松原参与、吉岡参与、末永参与、滝田参与につきましては、所用により欠席との御連絡をいただいております。また、君嶋参与につきましては、3時頃にこちらに到着するとの御連絡をいただいております。

それでは続きまして、中原区長の鈴木より御挨拶を申し上げます。

区長 皆さん、こんにちは。中原区長の鈴木でございます。

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、第7回中原区民会議に御出席いただきましてありがとうございます。また、参与の方々につきましても、大変お忙しい中、本日の会議に御出席いただいたことを感謝申し上げます。ありがとうございます。

本日は、新しい年を迎えまして初めての区民会議となります。第5期区民会議の委員様の任期も、残すところあと半年足らずとなりまして、いよいよ大詰めということでございます。昨年7月から部会などを初めといたしまして、真摯なる議論をしていただきましたことにつきまして、まずもって心より感謝申し上げます。

また、本日の会議におきましては、今期の区民会議の2つ目の審議テーマとしております「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」に関する取組事項の方向性などについて、一定の結論をいただければと考えております。また、今期の区民会議の審議テーマの審議につきましても、本日の会議で全て終了するという事になっておりますので、本日はぜひ、委員の皆様から活発な御意見の交換をお願いしたいと存じます。

結びになりますけれども、昨日も大雪が降るといったような予報もあった中で、本日も大変冷え込んでおります。今年の冬は、当初暖冬と言われておりましたけれども、大変厳しい状況になっております。まだまだこういった状況が続きますので、御健康には皆様御留意いただきまして、この寒さを乗り切っていただければと存じます。

私からの挨拶は以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

司会 それでは続きまして、事務局から本日の資料の確認をさせていただきます。

江口係長、お願いします。

事務局 それでは、本日の資料の確認をさせていただきますと存じます。

お手元にごございます資料について、御確認いただければと存じます。よろしく願いいたします。

まず1枚目、本日第7回区民会議の次第がございます。おめくりいただきまして、別紙1、本日の席次表を御用意しております。別紙2、区民会議の委員・参与の名簿でございます。

資料1-1は、課題解決に資する提案等まとめ、A3版で1枚の資料になっておりま

す。資料1－2は、A4版で、1枚目が両面印刷になっている全部で2枚の資料でございます。資料2は、自転車（交通）マナー・ルールに関する取組事例について、A3版の1枚の資料で、両面印刷になっております。資料3は、取組事項に係る経過報告というA4版の1枚の資料でございます。資料4、第5期中原区区民会議スケジュール（案）、A3版で1枚の資料になっております。資料5、第5期区民会議市民報告会に係るアンケートというA4版の、全部で2枚の資料でございます。

続きまして参考資料になりまして、参考資料1－1は、第7回課題調査部会の会議録でございます。全部で両面印刷12ページのものになっております。参考資料1－2、第8回課題調査部会の議事録で、こちらも両面印刷で8ページ目まででございます。参考資料2は、第6回運営部会の議事録の案で、こちらも両面印刷8ページ目までの資料になっております。参考資料3は、なかはら区民会議だより第26号でございます。参考資料4は、平成27年度区民会議交流会開催について、A4版で2枚の資料になっております。

また、交流会に御出席をいただく委員の皆様のお手元に、封筒に入れた交流会の通知を御用意しておりますので、御確認いただければと存じます。

資料の確認は以上でございます。

司会 ただいま資料について御確認をさせていただきましたが、資料等過不足ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ここからの進行は委員長にお任せしたいと存じます。委員長、どうぞよろしくお願いいたします。

2 会議録確認委員の選任

板倉委員長 ここからの議事は私が進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日はお寒い中、お集まりいただきまして大変ありがとうございます。強い寒気が流れ込んで、驚いたことに鹿児島では14センチ雪が積もったとか、奄美大島では115年ぶりの雪だとか異常な天候状況が続いているという感じがしますし、また2月に入ったら、暖気が入って暖かくなるといった、非常に気候不順な感じがいたします。皆さん、これからも体調管理に注意していただき、よろしくお願いいたします。

それではまず、会議録確認委員の選任をいたします。前回、園部委員と梶川委員にお願いしたので、名簿の順で恐縮ですが、尾木委員と梅原委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

3 議題

(1) 第7・8回課題調査部会及び第6回運営部会報告

(2) 取組事項に係る経過報告について

(3) 審議テーマ「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」について

板倉委員長 それでは、議題の審議に入っていきたいと思います。非常によくまとまっているのですが、量が多いので、できるだけ速やかにいろいろとお願いしたいと思います。

まず、第7回及び第8回課題調査部会の報告をしていただきます。続けて、第6回の運営部会の報告をいただきます。それから、このテーマの取組の経過ということで、議題テーマである「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」について、それぞれイベント等を行っておりますので、その内容について長尾委員から御説明いただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、課題部会は11月11日と12月2日に、先ほど申しあげましたように、みんなで育てる交通マナー、課題解決に向けた取組提案などについて検討が行われております。

それで、課題調査部会の検討結果について、課題調査部会長の成田副委員長に御報告をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

成田副委員長 それでは、課題調査部会の報告をさせていただきます。

11月11日水曜日に、まず部会員9名中7名の出席によりまして、また12月2日水曜日に、今回は部会員9名全員の出席で、それぞれ第7回及び第8回課題調査部会を開催しまして、2つ目のテーマである「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー～歩きやすいまちに～」について、部会としての最終的な意見をまとめました。

それでは、資料1-1を御覧ください。

これまでの会議などにおけます委員の意見をもとに検討いたしまして、提案の整理や提案内容に関して意見の補足や再整理などを行いました。検討の結果、内容につきましてはこれから御説明いたします3つの取組提案として取りまとめを行いましたので、まず資料の右側を御覧ください。

まず、交通マナー・ルールの普及・啓発を目的といたしまして、できることから優先的に取り組むものとして、2つの取組事項を検討いたしました。

1つ目の取組案は、取組①交通ルール・マナーの学習機会の強化・拡大です。具体的には、世代や対象に応じて交通ルールやマナーを啓発する機会を広げていくこととして、例えば老人会ですとか、幼稚園、保育園における保護者参観日などに、地域や学校でもなじみがあります交通安全教室や講習などを開催することが挙げられました。また、既に実施されておりますが、スクエアドストレート方式による交通安全教室につきましても、小・中・高校生を対象に実施するとともに、地域住民などの体験機会を広げること。それから、教室の内容の映像化や資料化、開催会場として、事業所などへの協力依頼や連携を図ること。さらに、既存のイベントと同時開催することといった案が挙げられました。

2つ目の取組案は、次の取組②「みんなで育てる交通マナー」啓発資料の作成・活用です。まずは、中原区らしさ・わかりやすさ・読まれやすさということを重視して、イラス

ト等を効果的に使った資料であることを念頭に置きました上で、具体的には、啓発標語の募集、ポスターコンテスト等の開催について意見が出され、これに関しましては、参加型・公募型による標語募集や、中原区まちづくり推進委員会のマナー・モラルアップ事業によります既存の作品集を活用したり、それから既存のコンテストなどとの連携を図ることといった意見が挙げられました。また、啓発資料の作成として、先ほどの作品集によります選考作品やコンテストなどによる入選作品を活用し、本のしおりやマグネット、カレンダー、道路への路面標示など、いわゆる形に残る形式の啓発資料として作成し、学校や区民の集まる場やイベントなどを活用しながら配布していくといったような意見が挙げられました。さらに、中原区の主に小杉駅周辺ならではの特徴を捉えまして、ベビーカーの利用者側のマナーや、また周囲からの配慮などの啓発資料の作成について意見が出され、ベビーカーの利用者が安心して通行できる環境づくりを目指し、国土交通省の公共交通機関等におけるベビーカー利用に関する協議会の啓発資料を活用し、駅周辺の街頭・施設・商店などにおいて掲示することや、利用者側のマナーの啓発資料についても作成し、これに関しましては、子育てサロン、乳幼児健診などの場で配布するといった意見が挙げられました。

次に、さらに多くの区民に取組を広げ、「みんな」で交通マナーを育むといった拡大を目指して取り組むものとしましては、取組③「みんなで育てる交通マナー」キャンペーン・イベントについて検討いたしました。主には語呂合わせですが、3月19日をサイクルの日、それから毎月20日を二輪の日という設定により、定期的な意識づけや強化期間の設定、一斉活動の展開、また広報大使を起用するなど、普及啓発を推進するための仕組みづくり・キャンペーンの展開について検討されました。また、既存のイベントなどでの出展やステージ上での発表などで展開することや、区民祭、区民会議市民報告会といった場を活用すること、取組体験の機会を創出することが必要であるとして、発表・交流の場の創出について検討されました。さらに、それらのイベントなどにおいて、タイヤ、ブレーキ、ライトなどの自転車安全点検を実施した上で、例えば「点検済」ですとか「安全運転宣言」などの啓発シールを作成、配布するなどし、併せて自転車の整備の指導、それから自転車損害保険への加入奨励などを行うといった自転車販売業者や自転車保険会社との連携などについての意見が出されました。

そのほかにも、検討に当たって、手続、関係機関などとの調整が必要となりますために、短期的な実現が難しいもので、今後も機会を捉えて実現を図りたい取組として、次の例が挙げられました。

まず、交通事故の多発する危険地点などについて、多くの世代が参加するワークショップにおいて課題などの共有を行うという、交通安全マップづくり。また、動画などの記録や作成による広報、バスや区役所でのアナウンスを利用するといったさまざまな広報・啓発資料の作成。また、花壇やガードポールの設置による駐輪防止や民地活用による一時駐

輪場の設置などの駐輪環境の整備。最後に、自転車点検や自転車保険の加入、交通安全の講座などの認定手法や魅力的なデザインの必要性、証明書の権威づけや得点付与などのさまざまな検討が必要となる自転車安全運転者証の作成。こうした意見が挙げられました。

最後に、コミュニティ・循環バスにつきましてですが、これまでに出示された意見などをまとめ、また課題などを整理して報告書に掲載していくことといった提案がありました。こうした個々の取組案をまとめた資料が次の資料1-2となりますので、後ほど御覧いただければと思います。

したがって、本日の会議におきましては、これまでの部会における検討内容について皆様からの御意見をいただき、また、取組案などのまとめについても同様に御意見をいただければと考えております。

なお、会議の詳細な審議内容につきましては、参考資料1-1及び参考資料1-2の会議録で確認いただけますので、後ほどこちらに関しましては御覧になっていただければと思います。

以上で課題調査部会の審議の報告を終わります。

板倉委員長 ありがとうございます。課題調査部会の検討結果について、御報告をいただきました。

次に、12月21日月曜日に開催しました第6回運営部会の検討内容について、運営部会副部長である橋本副委員長に御報告をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

橋本副委員長 それでは、第6回運営部会の経過につきまして御報告いたします。

12月21日月曜日に、7名の委員のうち6名出席のもとで部会を開催いたしました。最初に、課題調査部会長である成田副委員長から課題調査部会の結果を報告していただき、検討内容を確認いたしました。先ほど、成田副委員長からの御報告にもございましたように、第7回及び第8回の課題調査部会では、具体的な課題や取組案などについて議論が行われましたので、運営部会では、課題調査部会における検討内容や取組案などのまとめについて、本日の全体会議でどのように審議していくかということを検討いたしました。

それでは、改めまして先ほどもお話がありました資料1-1の右側の取組提案の欄を御覧ください。

資料の内容については、課題調査部会で検討していただいた際の主な意見などをもとにし、運営部会の審議において発言いただいた意見などを加えて、このように検討結果を記入させていただきました。特に、運営部会で挙げた意見としまして、この2つ目の取組案の「みんなで育てる交通マナー」啓発資料の作成・活用の欄の具体的な案であります啓発標語の募集、ポスターコンテスト等の開催について、参加型・公募型による啓発標語の募集とか、中原区まちづくり推進委員会のマナー・モラルアップ事業でまとめている既存の作品集を活用したり、既存のコンテスト等の連携を図ることに加えまして、毎年実施されている交通安全週間や交通安全運動における標語やスローガンなどに

についても連携ができるのではないかとといったような意見がございました。また、啓発資料の作成について、子どもたちだけでなく外国籍の市民にもわかりやすい資料にしてほしい、そういうことによって、より多くの人が見ることができるのではないかとといったような貴重な意見もございました。

さらに、取組③の「みんなで育てる交通マナー」キャンペーン・イベントの具体的な取組について、広報大使を任命して、さまざまなキャンペーンやイベントに出演、参加して、啓発活動をしてもらうことなども検討され、意見としてここにまとめさせていただきました。最終的には、部会におけるこれらの検討結果を踏まえて本日の会議に諮るということでも了承していただきました。

資料1-2に、個々の取組案を詳細にまとめておりますので、後ほど御覧いただければと思います。

本日は、取組案、提案内容について御確認をいただき、区民会議の提案する取組として、委員の皆様にご了承いただければと存じております。

会議の詳細の審議内容については、参考資料2の会議録で御覧いただければと思います。

なお、この間、1月15日に西中原中学校で神奈川県警などの主催により開催されました自転車交通安全教室に、6名の委員、それから小野副区長さんや担当の職員さんと一緒に参加、見学させていただきました。この件につきましては、後ほど長尾委員から御報告があるかと思っております。

私からの説明は以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。

課題調査部会、運営部会の両部会の検討結果の報告を御説明いただきました。

続きまして、この間にテーマに関する取組事項を幾つか実践しておりますので、ここで長尾委員から御報告をいただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

長尾委員 資料3につきまして、御報告いたします。

まず、1のスケアードストレート方式による自転車交通安全教室の見学ですが、1月15日金曜日の14時から、川崎市立西中原中学校の校庭で実施されたものをほかの5名の委員の皆様と一緒に見学してまいりました。西中原中学校は公立の中学校で、生徒数が日本一多いということで、生徒さんたちの集合にもすごく時間がかかり、こんなにたくさんの元気な生徒さんたちがちゃんと真剣に見てくださるんだろうかとちょっと不安になったくらいだったんですけども、実演が始まりますと皆さん真剣に見ていらして、危ない場面では思わず声を上げたり目をつぶってしまったりと、迫力ある実演に引き込まれていくようでした。とても怖いなと思って見ていたものが、こういう事故は本当にあったことなんですよというお話を聞きまして、大したことないと思いがちだった自転車事故が、本当に危ないものなんだなということを生徒さんたちも実感されたのではないかと思います。

スタントマンの方がルール違反の実演をされた後に、正しい乗り方だったら大丈夫だったのだけれども、皆さん正しい模範的な乗り方はできますかということで、生徒さんの代表の方に出てきていただいて、模範的な乗り方を実演していただいたんです。その中にちょっとお友達を笑わせたいのかなと思われるような態度の生徒さんもいらしたんですが、スタントマンからこういうふうにするんですという説明を聞いているうちに表情がすごく真剣になってきまして、見事に模範的な乗り方を見せてくださいました。この様子を見ておりましたら、スケアードストレート方式による自転車交通安全教室というのは中学生、高校生にアピールする本当にとってもよい方法だと実感いたしました。

続きまして、2の中原区PTA協議会、私どもの広報紙への掲載ということなんですけれども、私どもは年に3回広報紙を発行しております、第2号を12月14日に発行いたしました。その中に、『ご存知ですか?』というコーナーがありまして、知っているようで意外と知らないこととこのを毎回テーマとして取り上げているんですけれども、そこで今回、私はここにかかわっているということで、自転車の乗り方も意外と知っているようで知らないので取り上げてみようという提案いたしましたら、PTAの世代というのは自転車を多く利用しているので皆様が賛成してくれまして、今回、自転車ルール〇×クイズという形で掲載させていただきました。

実際の紙面はこういうものなんです、この一番後ろの面にクイズをつけまして、内側のほうに答えを載せております。この広報紙は、区内の小・中学校の児童生徒、教職員合わせて1万7500人ぐらいの方にお配りしているものですので、見ていただけたらよかったですかなと思っております。

以上です。

板倉委員長 どうもありがとうございました。

それでは、先ほどの2つの部会の報告を受けて、審議テーマに関する取組事項の提案について、委員の皆さんから御意見いただきたいと思っております。

どなたか——なければ、申しわけないのですが、順番に、山崎さんお願いします。

山崎委員 課題調査部会ではいろいろと検討させていただいてまして、自分でも何をしゃべっていたのかなというようなことが、こんなきれいになってびっくりしています。

ただ、私たちがいろいろとやりたいことがあっても、すぐにはできないということもよくわかりまして、なかなか難しいなというのが実感です。希望はたくさんあるんですけれども、1つずつできるところからという検討のポイントを忠実に実行されていかれるといいのかなと思っております。

中原らしさという意味で、ベビーカー利用についても入れていただいたりしているもので、全世代にわたってのいい啓発物ができたらいいなと思っております。

松本委員 まず、優先的に取り組むものということで、今、長尾委員からお話がありましたスケアードストレート方式の自転車安全教室につきましては、非常によかったと思いま

す。というのは、百聞は一見にしかずということで、やっぱり100回聞くより1回現実的などころを見せる。マンモス校の西中原中学校で行われて、以前下小田中小学校でも2回、PTAの方と1回ありまして、また2回目は生徒さんも含めてありましたが、今度はこれからの若者、青年、中学1、2年生ということで本当に真剣になって見て、またいろいろお聞きして、現実的にこういう事故が起こるんだということで、例えばトラックの大きな内輪差、角を曲がる時、そこに自転車が巻き込まれて事故につながると。死亡事故にもなりますので、そういったところをスタントマンに演技していただいて、現実的などころを生徒さんが生で見たことによって、それがこれからの人生につながってくると同時に、自転車に乗った場合は、右左の確認ということじゃないかと思います。非常によかったと思います。

それから、みんなで育てる交通マナーについてです。ポスターコンテスト等ありますが、マナー・モラルアップの作品集、啓発ということもございしますが、私も当初からまちづくり推進委員をやっております、取り組んだ作品がかなりあります。そのころは外国籍の方もおられまして、フランス人のルポさんという方とか、韓国人の方等も一緒にこの取組に向けて作業したこともございしますが、その作品集がまちづくり推進委員会の中ではかなりの量の冊子になっております。その中でまた、自転車に関すること、交通マナーに関する作品もかなりあります。それを利用するというのも1つの手だと思いますし、新たにまたポスターコンテストを夏休み前に区民会議として募集して、各学校に出していただくのも1つのやり方であるということ、課題調査部会で提案させていただきました。

また、拡大に取り組むものとしましては、まず標示です。道路に対しての路面標示とか、電信柱に対するマーク、そういうのが通勤・通学時、また、学校から帰られるときも非常に目につきやすいということでございます。

萩原委員 課題調査部会のほうでかなり具体的に絞り込んでいただきまして、運営部会としても実行にこぎつけることができそうなものがほとんどかなと思ひまして、まとめさせていただきました。特に区民会議ならではの、今回ベビーカーとか乳幼児健診も視野に入れながらという交通マナーですので、それに加え、学校、警察、それと企業、自転車の販売業者さんとか保険に絡む方、また、交通安全にふだん絡んでいる諸団体の方々も一緒になって取り組めるところまで行ければ本当にすばらしいことなので、このキャンペーン、イベントまで持ち込めればすばらしいなと思います。

特に、自転車安全運転者証とか啓発シールとか、この辺ができれば中原区民会議としても存在感が高まりますし、その音頭をとることによっていろんなグループや企業が学校も含めて一緒になってできるということがすばらしいことかなと思いますので、ぜひこれを進めていければと思っています。

仁上委員 調査部会の皆さんのこの会議の結果の資料を見させていただいて、非常に頭の

下がる思いがいたします。ちょっと話は変わるんですけども、テレビの番組で、自転車マナーが守られていないようなある交差点で、白バイの警察官がそれを追いかけていて、いろいろ注意をする。神奈川県じゃないんですけども、それを徹底的にやっているほかの地域がある。やはり人間というのは、お巡りさんに注意されるとびしっとするもので、行政がしっかりと注意をする、そういった取組をしている自治体もあるんだなということ強く感じたところなんです。

また、私がここまで来るところで、綱島街道沿いに平和公園、それから労災病院がございいます。せっかくの平和公園の植栽が見るも無残に取り払われているので、何をされるのかなと思ったら、自転車レーンを工事中だというような看板が出ていまして、いろんな形で自転車に対する国というか県の取組なんかも進んでいるんだなということが新たに目につくようになってきております。

最近感じることは、商店街を歩いていても駐輪場所というのが非常にきちっとつくられて、以前、十何年も前は非常に乱雑だったのが整理されてきているなというような気がいたします。皆さんがこの区民会議を通じて、みんなで守ろうというキャンペーンをどんどんしていくことは、常にこの区民会議の発信材料としては非常にタイムリーではないかなと。こういうことを決めていただければ、私なんかもその一員として大いに応援活動をしていきたいなと思ったところです。

中森委員 今までいろいろ皆さんが考えて、ここに取組として出している提案にすごく賛成しています。特に、もう実際にやっているものもあって、そこで拡大というのがとても大事だと思っています。いろんな世代がマナーについて学ぶべきだと思っています。自分で正しいと思っても、親がやっていることが正しいと思っても、実際はそれが正しくないと後で気がつくこともあって、できるだけきちんとマナーを学んでいったほうが良いと感じています。

もしポスターとかを作成するときには、できるだけイラストとかをたくさん利用して、文字ではわかりづらいところをイラストでわかりやすくしていくと、余り書かなくても皆さんがわかるようになると思うので、これが実現できたらいいと思います。

板倉委員長 それでは、長尾委員、お願いします。

長尾委員 先ほども申しましたが、やはりスケアードストレート方式の交通安全教室はとても効果的だと思いました。なかなかお金もかかる取組なのであちこちでたくさんというわけにはいかないでしょうけれども、保護者も招いての参観日ですとかなるべくそういう場でしていただくと、すごくアピールするのではないかと思います。

それから、参観日や家庭教育学級はPTAを集めてみんなで勉強しましょうみたいな会があるのですが、そういうところで、スケアードストレートでなくても交通安全について話していただくとか、ポスターや標語を長期の休みの前に学校を通じて募集するというような取組は比較的やりやすいのではないかと思いますし、対象の人数が多いので効果もあ

るのではないかと思うので、進めていければいいと思います。

ちょっと大変かもしれませんが、イベントというのもぜひ、とても楽しい感じがしますので、見てみたいと思います。

仲亀委員 私自身、実際問題、皆さんと一緒に行動して活動することができないことが自分自身でもいつくときがあるんですけども、区民委員の皆様方全員でこういうまちづくりをしていらっしゃるということが本当にありがたいことだなと感じましたし、それに中原区民全員の方たちにこういう心があれば、きれいなまちづくりというのはいつまでたっても続くんじゃないかなという感じがすごくします。自分自身、見えないながらも歩いていて、何かにつけて気がつくような感じにもなってきていますし、お友達にも、こういう中でこういうような活動をしているのを知っているかと聞いても、知らない方がいっぱいいらっしゃるので、区民会議みたいな中で、また中の方たちとか、そういう活動自体を区民全体の方たちにわかっていただけたら、本当に素晴らしいことじゃないかなと思います。自分自身この中に入っていけないということはとってもつらい立場なんですけれども、障害者として、これからも自分ができる範囲内、それから自分がわかる範囲内でやれることだけは、もう本当に砂みたいなものかもしれませんが、御協力できたらとすごく感じている次第です。

塚本委員 ここにまとめていただいている区の特徴、それから検討のポイント、検討経過、こういうところから取組①、②が出てきたということで、ぜひ進めていただきたいなと思っております。特に開発地域なんかで言いますと、小学生、中学生がどんどんふえつつありますので、子どもたちに教育するというのは大事だなと思います。

質問なんですけれども、こういうことを今テーマに挙げるといった検討経過の中で、今こういう時期だから特にこういう問題がふえてきているとか、逆に今までこういうことをやってきたから今こういうふうな問題がなくなってきているとかいう情報が警察とか諸団体から得られたのであれば少し教えていただきたいなと思うんですが、そういうのはありましたでしょうか。

板倉委員長 事故データをいただきました。それから最近の自転車事故の話とか、そういうものに対するデータはいただいたと思います。

塚本委員 中原区としてはふえているんですか。事故件数とか自転車事故とかそういうものはふえているのか。

板倉委員長 区役所側で何かありましたら。

事務局 危機管理担当課長の村田でございます。本日詳細な資料は手元に用意していないんですけども、神奈川県警察が発表いたします自転車事故の発生割合というものがございまして、中原区は全人身事故に占める自転車事故の割合がワースト10の中に必ず入ってございます。その中で第8位になったり3位になったり5位になったりということで、事故の件数につきまして、例えば見方を変えて、人口当たりの自転車事故ということでござ

いますと、実は中原区は麻生区や宮前区と並んで下位なんですね。ですから、自転車事故の発生件数は、人口当たりでは少ないんですが、全ての交通事故におけます割合としては高いというような状況になっていますので、人身事故も一般の交通事故も自転車事故もできればなくしていきたいんですが、そういう意味では高い比率ということで、去年は警察署の管内ではワーストスリーのような状況になってございます。

事務局 データ的なことというお話でしたけれども、第4回の運営部会の中でテーマを決めるときに、こちらでお出ししたんですけれども、放置自転車の数で言いますと、ここ数年でかなり減ってきてございまして、平成20年度が5844件、平日の9時の状況であったんですけれども、直近のデータで言いますと878台ということで、放置自転車の数はかなり減ってきている状況にございます。

塚本委員 それは、駐輪場とかが整備されたからということが大きいんでしょうかね。

事務局 特に小杉の周辺の整備が一番大きいのかなと認識しております。

塚本委員 すごいですね。10分の1以下。

田中委員 私からは、車のことなんですが、私のそばに信号がございまして、その角にはコンビニがあって、そこに車が入ってお客さんが入るわけなただけけれども、ちょうどその角が両方ともフェンスがないものですから、左折する車が、信号が変わってしまうんじゃないかということで、入るふりをしてその中を通過するんですね。そういうケースも実はあるんですよ。一度は、これは若い子ですけれども、すごいクラクションを鳴らしながら、そこを通過しちゃう。こういうことで、通学路になっているし、私も十分気をつけてはおりますけれども、やはりそういうところに警告といいましょうか、お願いといいましょうか、そういうことができないものかどうか。ただ、フェンスをしてしまうと今度は車が入れないと妨害になっちゃうので、左折する車のみをフェンスしてもらえばなおさらいいかなと考えているんです。ちょうど突端のところには信号があるという、非常に条件がいいというか悪いというか、そういうところなんですよ。

それから、交通マナーの問題ですけれども、小学校の講習会は決まったときにやっているようでございますけれども、去年、私どものほうの老人いこいの家で講習会をやりまして、かなりの人数が集まりまして、きょう仁上委員もおりますが一緒でございましたけれども、スタントマンが来まして、講義と実習をやったんですけれども、ふだん考えている、それを実際見ると、現実にこういうことがあるのかということで、これは反復しないとだめだと思うので、1回やっても当たり前といいましょうか、こんなこともあったのかとどうしても——これは回数を重ねて、わかっているでもいいから同じことをするということが私はいんじゃないかと思っております。これにつきましては、またうちの委員会と相談しまして、どうやってやるか考えていくこととさせていただきます。

乳母車につきましてですが、これは歩道が狭いということもありましようし、非常に危険なところもあるんですけれども、ちょっと外れちゃうかもしれませぬけれども、最近特

に乗り物に対しての利用。例えば電車、バス、ここら辺も相当目につくようになっているんですけども、この前、私はバスを利用しましたところ、たまたま何かの会が終わって、そこに乳母車が入ってきた。やっぱり3台入れちゃうと、前を歩けませんよね。そんなところを目にしたんです。これは自動車の会社のほうのことなんですが、仕方ないと思いますけれども、お互いにどうしたらマナーといいたいでしょうか、人に迷惑をかけないで乗れるのか。そういうことを考えながら、もう少しこの調整を図っていただくとありがたいなと。例えば、一遍に乗られちゃうと歩けないから、2台なら2台にしてもらおうとか、それから、夫婦で乗って子どもがいるならば、畳んで1人が座って子どもを抱えて乳母車を片づければいいことなので、乗り物の話になっちゃってごめんなさい。そんなこともございましたので、ぜひそんなことにつきましても、乳母車は何をしてもいいんだという言い方になると困るので、やっぱり利用されるんですから、そこはルールを、人様に迷惑がかからないような方法ということを考えながらやっていただくとありがたいな。こんなことでございます。

ちょっと外れてしまいましたけれども、そんなことを考えながら道を歩く、乳母車も、狭い道なので、私も来れば譲る形をとりますけれども、どうかお互いに気持ちよく歩くような方法を考えていきたいと考えております。

及ばずながら、これからもそんな面に注意しながらやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

板倉委員長 ベビーカーも2台並んで歩くとか、スマホをやりながら歩くとか、結構この辺もそういう方々が多くなっていますので、少し検討する余地はあるんだと思います。

反町委員 ベビーカーは、私は道を塞がれることはないですけども、スマホをやりながらの人は本当に多いですよ。危ないなと思うこともありまして、かわりにそばで見守っていてあげているところですけども、そんな中で、私も課題調査部会のメンバーでもありまして、本当にたくさん出た意見の中でこういった形で何とかまとめ切ったというか、まとめていただいたと言ったほうがいいかもしれませんが、本当にいろんな意見が出ました。現段階でこういう形でまとまっているんですけども、1つ1つの意見が、私自身、正直今回のテーマ自体が専門ではないところもある中で、一区民の立場で考えても全部いい意見だなというか、やれるものなら全部やったほうがいいなと感じるものばかりでした。そんな中で、それでもまとめなくちゃというところで実際に今すぐに実現できそうなことを考えて、一応まとめさせていただいたところでございます。そんな中で、私が一番できそうだな、私の力、経験を発揮できそうだなというところは、やはりイベント的な要素を持たせて、どういった形でもいいんですけども、このすばらしい提案を区民の方、子どもさんにも親御さんにも広く伝えていくためには、例えばイベントとかの対象とする方々がたくさん集まる場所で広く周知、PRする。しかもこれを継続的にというところで、ほかにもたくさん例があると思うんですけども、広報大使みたいな形で川崎で人気

の方にちょっと力をかりて、そういった関連のイベントのときに、先頭に立って、表に立って、いろんな啓発、そのことに興味、関心を引きつけながら強くPRしていく、そういう方がいてくださったらいいのかなと思って、それで川崎にも、ほかの大使をやってられる方も含まれると思うんですけれども、何組か有名な方がいらっしゃると思いますので、皆さんの御意見も伺って、そういった形でのPRもいいんじゃないかということになったら、そういうところに実際に声をかけているような調整をするところまで、私はぜひやらせていただきたいと思っております。特に今回の取組提案のことをまだ伺っていなかった、きょう初めて聞いた方については、何かそういうところについてぜひ御意見をいただけたらありがたいと思います。

それから、この取組提案だけではなくてほかにも言えることなんですけれども、私の個人的な意見で、年度の区切りとか任期の区切りみたいなものはどうしてもあると思うんですけれども、やはりこういったものを本当にきちんと周知していくためには、年度とかのそういう区切り、こちらの都合とか、それで立ち消えてしまったりしては絶対にだめだと思います。ですから、それぞれ皆さんいろんな立場があるとは思いますが、少なくとも私は区民会議の委員としての任期は今期で3期目ですので終わりということにはなるんですけれども、こういったキャンペーン等で、何かこういった取組を啓発していくというところでは、任期が終わった後もできる限り頑張りたいという気持ちを持っておりますので、それはちょっとこの場でお伝えしておきたいと思っております。

板倉委員長 よろしくお願ひします。

園部委員 今回、みんなで育てる交通マナーということでもとめていただいたのを見させていただきますと、ここに提案として出されておりますのは、本当にそうだなと思うことばかりなんです。そして、皆さんもおっしゃるように、これができたら本当にいいなということなんですけれども、私たちが毎日生活していく中で、交通ルールについても、まず知るということが一番だと思うんです。そして、その知ったことを一番よくインプットできるのは、体験とか実験とか見るとか、例えば今回のスケアードストレートとか、あと、例えば標語とかポスターとか、小・中学生がそれをつくって出したらば、私は、僕は、こういう標語をつくったんだというので、きっとすごくそれが印象に残ると思うんです。ですから、何かについてイベントで見て体験する。

話が昨年に戻りますが、区民祭の折に、私たち前期の課題部会で、フロンターレのアシストの方とか、またフロンターレの選手の方が見えてくださったりして、ごみの分別の体験をしていただいたんです。子どもたちは興味本位だったかもしれませんが、それをととても楽しそうに体験していて、なおかつそのお子さん方に付き添っていらっしゃるお父さん、お母さんたちも、ああそんなもんかなというふうに、実際目で見てわかっていただくということで、やっぱり体験することは一番周知してもらえなことじゃないかなと思うんです。

ここにもたくさん、今反町委員もおっしゃったように、イベントとかポスターとかスケアード、それから先ほどのPTA新聞の『ご存知ですか？』の〇×で、やってみたら意外とこのルールがわからなかったなみたいなこともあるかもしれないですね。そういうふうな形で持っていかれたらいいのではないかなと思うんです。そういう意味では、ここに書かれております提案内容というのはできたらすばらしいなと思いました。

そして、一番最後のその他の機会を捉えて実現を図りたい取組というところで、それぞれこの4つそうなんですが、駐輪環境の整備、これも先ほど仁上委員から、道が駐輪場のために整備されていると言われました。場所とか費用とかいろいろ制限のかかるものだと思うんですけれども、機会があったらばというか、機会を捉えてそういう場所が整備されたら、この中原がますますきれいになっていくんじゃないかなと思いました。

この取組提案については本当によかったなと思っております。

梶川委員 今回は課題調査部会に入らせていただきまして、ここにありますようなことをいろいろ話し合っただけだったので、本当にこれが実現できたらいいなと思っているんです。この区民会議に入ってから、ベビーカーのことも随分いろいろ出てきたんですけれども、このごろ、そのころよりも大分小杉駅周辺のベビーカーを使っている方のマナーがよくなってきたような気がするんです。それから、住んでいる場所によって、歩道がある道路はかえって怖いというか、歩行者にとってはそこに自転車が来ちゃうので、常に後ろを向きながら歩いていないと、結構すごいスピードを出して追い越していくので、そういう人に対しての注意書きとか、イベントや何かのときにそれを皆さんに伝えて、注意していただきたいなと思います。うちは尻手黒川のほうにありますので、そこの歩道はずっとバス停になっているんです。そして自転車がすごい勢いで飛んでくると、おりた途端に転びそうになったりする人もいます。そういうのを私も最初からすごく怖いなと思っていたので、何とかできたらいいなと思っております。

それから、先ほどいろいろ皆さんがおっしゃっていましたが、イベントとかキャンペーンに出場してチラシを配ったりとか、そういうところを区民会議としてやっていったらどうかと思っております。

尾木委員 この検討経過を拝見していますと、本当に全ての問題が網羅されていると思います。御検討いただいた皆さん、本当にお疲れさまでございました。特にマナーの問題は、思いやりとか譲り合いとか基本的な人間の生活の中で必要な要素がいっぱいあるわけございまして、中原区交通安全対策協議会も、早朝の自転車の通行マナーを監視したり、マナーの悪い人には注意したりということをやっております。それが終わりますと、老人会の交通、特に自転車とか高齢者に対する交通マナーとかは、署の交通課の人が来て講習会をやっていただいているんですけれども、いずれにいたしましても、どれが大事だということではなくて全て大事でございます。まず手始めに我々がやらなきゃいけないのは、マナーを守るということが一番手っ取り早くできるのかなと。きょうは行政の

方もお見えになっていますけれども、もちろんそれに伴う道路、歩道の整備ももちろん必要ですけれども、まず自転車を利用する方たちのマナー、そして譲り合いとか思いやりとか、そういったものが基本的に社会の中にずっと定着していくことが事故を減らす基本になるかなという感じがしております。

この検討経過については、本当に1つ1つ取り上げて、さらに有効な手段を講じることが必要だと思いますけれども、これを全て同時にやるのは難しいなと思っております。やれるところからやっていくという形で、この区民会議の提案もそういうスタンスでひとつまとめていただければなと思っております。そんなことが感想でございます。

梅原委員 この課題調査部会に参加させていただきまして、資料1-1にまとめた資料があるんですが、私は自画自賛ですけれども、非常によくできていると思うんです。

それで、その中で5つばかり提案があるんですけれども、まず最初に、この啓発とか啓蒙資料とかグッズをつくって配布するという項目があるんですが、この配布する方法です。例えば、道行く人に配ってもごみ箱に入ってしまうだろうし、効果はほとんどないんですね。実際に、例えばイベントをやっても、何とかのイベントとかいうと、大体来る子どもとか来る大人というのは決まっているんですよ。底辺の人というのはほとんど出てこないんですね。やっぱりこういう資料を配布する方法として、例えば民生にお願いするか社会福祉協議会にお願いするか、あるいは、区の受付窓口にいろいろ手続するためにいろんな人が訪れてくると思うんですけれども、そのときに資料と一緒にこういうビラをつけて渡すとか、あるいは学校で子どもに渡す。そうすると、子どもが家に持って帰りますから非常にいいというように、配布の方法を工夫する必要があるんじゃないかなと思うんです。ここに書いてあるコンテストをやるとかは非常にいいんですけれども、できたものをどうやって皆さんに渡すかという工夫が私は必要じゃないかなと思います。

それから、自転車の件が2番目ですけれども、いろいろ出てきたんですね。今のところ、例えば駐輪場に入れるとか自転車を規制する方向ばかり出ているんですけれども、ところが、先ほど話がありましたように、最近駐輪場とかが整備されてきまして、間違いなくそれに伴って放置自転車が減ってきているんですね。私自身、町を歩いていても放置自転車が減っているということで、これはちゃんと整備されれば放置自転車がなくなることが証明されたと思いますので、どんどん進めていくべきじゃないかと思います。

それから、マナーの話が出ましたけれども、マナーは、子どもはよく守るんですよ。大人が守らないんですね。その辺をきちんと教えるというのが大事なんですけれども、そのときに、こういうことをやったら事故が起こりますよ、悲惨なことになるよという、この前やったスケアード方式というのがありますけれども、実際に起こった悲惨な事故を、個人のあれはあるかもしれませんが、こういう事故が起こってこんな損害が起こったよ、こんな悲惨な目に遭ったよというのを具体的に資料にして配ったらどうか。啓蒙資料の中に入れて配ったらどうかということがあります。

それからもう1つ、コミュニティバス・循環型バスが一番下にあるんですけれども、時間はたくさんある、しかしお金はないというようなお年寄りがこれからどんどんふえるわけです。そうすると、費用の問題があるかもしれませんが、例えばコミュニティバスを上りと下りと1台ずつあって、それを1時間置きに区内をぐるっと回しておれば、時間が決まっていればちゃんと乗っていただけますから、そういうバスを整備すべきじゃないかなという感じはする。これは、最初に松本委員が提案したんですけれども、どういうコースに行けばいいかというのを皆さんから募集して、こういうコースに回ってもらうと楽だよ。最大公約数をとって上りと下りと1本ずつ回せば、1時間に1度ぐらいは回ってきますから、皆さんそれを利用するというような感じはいたします。

岩崎委員 中原区の状況ということで、人口がふえていたり子どもから御高齢の方までさまざまな方がいる中で、先ほどの中森委員と似た意見にはなりますけれども、交通安全教室の内容とかその啓発について、イラストとか映像などで取組を広めるというのは非常に有効なのかなと感じました。また、長尾委員のほうからも御報告がありましたけれども、スケアードストレート方式の有用性というのが先ほどの御報告の中でよくわかりましたので、こちらについても積極的に拡大していくことは非常にいいのかなと感じております。

いろいろな取組を挙げられていると思うんですけれども、その中には、非常にお金の多くかかるものもありますし、そんなにはかからないもの、また時間のかかるもの、かからないものもありますけれども、なるべくお金がかからないものから効果が比較的高いものを優先して実行していけばいいのかなと感じました。また、その取組の際に、こちらに出席いただいている委員の方とか諸団体の方の御協力が得られるようなものについては優先していてもいいのかなと感じました。

井上委員 中原アシストクラブの井上です。

私は、家族に1歳の娘と4歳の娘がいて、やはり親としてはこういう交通安全ですとかマナーは子どもにちゃんと教えたいという思いがあるので、個人的にもすごく関心があります。なので、今回こういった取組提案が出ているものはできるだけ実現していただけたらすごくうれしいと思っております。

その中で、一番たくさんの方から出ていた周知という部分がやはり課題になるのかなと感じています。実際に交通事故とかこういった自転車に関する取組というのは、年々この地域も強化していて、数字にすごくあらわれているというのは知っていたので、今言われたとおり、届かない人へどういうふうにマナーとか交通安全の大切さを伝えるというのが本当の意味での課題になっているのかなと感じているので、そこをいかにしていくのかというところが実際問題だと思っています。

私としては、既存の方というのはここでやっていただくことで届く部分もあると思うんですけれども、これからの取組という部分で、例えば、自転車屋さんで買うタイミングで

こういったマナーですとか、新しい自転車の交通安全のルールが実際乗っていてわからないことが多々あるので、買うタイミングで、買ったときは皆さんすごく喜んで気分も上がっているときなので、そういうタイミングで新しい交通ルールとかを知っていただくような冊子とか、もしくはスクエアドストレート方式の教室の拡大と言っているの、そういった教室の紹介とか、参加したらこれだけおもしろいよと伝わるようなチラシか何か、そういった仕掛けができるのが一番いいのかなと感じました。

実際に去年、川崎フロンターレでも中原警察さんと協力して交通安全教室のイベントをやっています。地元の自転車屋さんにも協力していただいてブースを出してもらったんですけども、そのときには、今お子さんがヘルメットを買う傾向が物すごく強くて、そういった流れから、デザイン性、安全性とかがすごく高くなっていて、たくさんの子どもがかぶるようになっていきます。それは、当然親が子どもにけがをしてもらいたくないということで買わせているもので、そのときは販売というよりは紹介をしていただいていたんですけども、後日等々力で、見たから買いに来ましたという方が来たというような報告を受けて、すごく喜んでいただいていたので、自転車屋さんがすごくいい窓口になるんだな、こういう地域の中でも生かせるものがあるんだなというのを感じました。そういったところと連携をしていけば、向こうとしても収益にはなるので、すごく喜ぶことなんじゃないかなと。どちらにとってもすごく有益なことなんだなと思ったので、ぜひ活用していただければと思いました。

橋本副委員長 皆さんからいろいろいただいた中で、周知方法をどうするか。これについて、やはり企業とか諸団体の協力を得ることが必要になるのかなと。それから、短期的に実施できないもの、継続的に実施するものについては、費用等の問題もあるので、これについてもやはり団体や企業への協力要請をしたり、また、行政のほうでもできる部分は予算化していただいて、実施できるようにしていく、そのような形で取り組む必要があるのかなというように感じました。

成田副委員長 最後になってしまいましたが、4回にわたります課題協議会の中で、本当に盛りだくさんの皆様からの御提案をこういう形でまとめ上げることができましたことに、まず御礼申し上げます。それを含めまして、全体会を通しまして最終的な継続性を持った企画ということをもたえていきたいと思っています。

区民会議でのポイントは、今回は自転車というテーマでしたけれども、やはり私たちを含めました区民みんなが快適に安全に過ごせる場所が欲しいということが1つと、もう1つは、やはりそれに伴って思いやりですとか譲り合いといったような、お互いがお互いを思いやる、ひいては中原区の中でのコミュニティの結束が強まってくるんじゃないかと思っています。安全面ではハード面の整備というのもありますけれども、行政主体でのハード面の整備以上に、先ほども意見が皆様から出されましたが、私たちが周知していかなければならない、自分たちがマナーの主役であるといったことをやっぱり忘れちゃいけない

など感じました。

小杉駅周辺の駐輪自転車、特に違法駐輪の自転車が最近本当に減ったということは、長年小杉周辺を見ている方々にとっては非常に驚きなのですが、やはりこれは大勢の方がマナーを守れば、たった1人の人間が逆にマナーを破りにくくなる。今までは、10台自転車がとまっていたらあと1台ぐらい置いちゃおうということができましたけれども、何もないうちに最初の1台を置くというのは逆に勇気が要ることで、そういう意味では、やはり私たち自身が下からのボトムアップという形で、みずからがマナーを守っていく、その上で安全面を保障してもらおうといった自分たちの努力も必要なのではないかなというのを、4回の会議の中でも個人的に感想として持たせていただきました。

これに関しまして、自転車というテーマは恐らく今後もずっと続いていく課題ではないかと思えますけれども、継続性を持った上で、今後ここで途切れないようにいろいろな場所でまた発信していきながら、皆様方とともに進めていければいいかなと思っております。

本当にありがとうございました。

板倉委員長 どうもありがとうございました。こうやって全体の意見を聞いて、何かもう一言、これが言いたいという人がいましたら——ないですか。

それでは、時間の都合もございませうので、発言はここまでとさせていただきます。多く御意見をいただきましたので、現在の案に反映できるものは反映という形で、今後の事務局との調整は私に一任いただければと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、本案を区民会議としての取組事項ということで進めていきたいと思っております。

(4) 第5期区民会議市民報告会に向けて

板倉委員長 次に、第5期区民会議スケジュール(案)についてと、次の議題の第5期区民会議市民報告会に向けての2つの説明を事務局からお願いいたします。

事務局 スケジュールの関係と報告会の関係について御説明させていただきます。

初めに、資料4、A3の資料を御覧ください。

こちらがスケジュールでございまして、一昨年7月から開始されました区民会議もあと6か月ということで、スケジュールが最後のほうになってきてございます。2月に第7回の運営部会を開催しまして、こちらを踏まえて3月22日に第8期の区民会議、最後の区民会議を予定してございます。こちらの中で、最終的な報告書等の取りまとめについて御議論いただくことで考えてございます。こちらを踏まえまして、4月になりますけれども、右の下の報告書を区長に御報告していただくような形で考えてございます。この全ての内容につきまして、5月28日を予定してございますけれども、市民報告会という形で御報告をいただくようなことで考えてございます。場所については、中原市民館を予定してございます。こういったスケジュールで、残り5か月ちょっとを進めていきたいと考えて

ございます。

続きまして、報告会の関係を御説明いたしますので、資料5、A4の左上をとじたものの3ページ、参考を御覧いただければと思います。

こちらは、第2期以降、どんな感じで報告会を行ったかというのをお示ししてございます。毎回報告だけというよりは、さまざまな方に御参加いただくような仕組みとして、いろいろなアトラクショナルなものを考えてございます。第2期で言いますと、ちょうど③のところでございますけれども、こういったオーケストラの方に来ていただいたりしておりますし、下の3期のところで言いますと、初めにオープニング演奏ということで、富士通の方に来ていただいたり、あとは③講演をしたり、④ダンスをお願いしてございます。

4ページを御覧いただければと思いますけれども、前回の第4期につきましても、初めに区民会議の報告をした上で、写真で見る中原昔話ということで、区制40周年の記念の写真集の編集委員の方たちにお話をさせていただき、講演ということで、フロンターレの応援団の方をお願いをして、さらに演奏という形でプログラムを組ませていただいているところでございます。

こういった内容について、先ほど申し上げましたとおり5月28日に中原市民館で報告会を予定してございます。このスケジュールといたしまして、こちらでちょっと想定してございますのが、きょうの区民会議を踏まえまして、できれば1月中と考えていますけれども、遅くとも2月に入ってから準備の打ち合わせを1回持って、それを区民会議、運営部会のほうに報告をさせていただくと。さらに何回か準備の打ち合わせをしまして、区民会議へ適宜報告等をしながら最終的に6月28日、市民報告会を開いていきたいと考えてございます。

こういった中身について、アンケートをお願いしたいというのが資料5になります。

1ページを御覧いただければと思いますけれども、こちらの内容について、まず1でございまして、報告会の実施内容、どのような区民会議の報告がいいのかというのが(1)でございまして、(2)が、先ほどお話ししましたけれども、報告以外にどんなプログラムを実施したらより多くの方に来館していただけるのかなということでアイデア等をいただければと考えてございます。

2ページでございまして、(3)が、例えば周辺にパネルを展示したらいいとか、そういった掲示物等につきまして御意見等があれば御記入いただきたいと考えてございます。

次、2、打ち合わせにつきましましてはできるだけ区民会議の委員の方にもお入りいただいて、提案内容を考えていきたいと思っております。そういったことで参加いただける方、参加できない等のアンケートにお答えいただければと考えてございます。

3、それ以外にも何かございましたら御提案をいただきたいという内容になってございます。

こちらにつきましては、本日も御議論いただきたいと思っておりますけれども、最終的に2月5日までに事務局に御提出いただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。

今のお話に、御意見とか御質問はございますか。梅原さん、この報告会を経験していますか。皆さんどんな感じなのかなということなんですけれども。

梅原委員 昨年も出ささせていただきましたけれども、内容的に、昨年いろいろ検討した内容を発表するほかに、アトラクションみたいなのがありまして、あのアトラクションは正直言って余りいいと思わなかったですね。もしたくさんの人、市民の方に来ていただいて、そしてこういうことをやるから皆さん聞いてくださいというのだったら、すごく工夫しないと来ていただけないと思うんです。去年は少なかったですよ。

板倉委員長 報告会のほうは少なく、イベントのほうはある程度入ったような気がしますが。

梅原委員 これは、今回いろいろ決めたことを、こういうことをやりますから皆さん御協力をお願いしますというスタイルできっちりと報告されたほうがいいと思います。

板倉委員長 市民報告会の実施に対する打合せというのがあるんですが、何回ぐらいを予定しているんですか。

事務局 先ほどの資料5の4ページにお示ししてはございますけれども、一応このスケジュールでは、第1回目が1月下旬から2月の初め、3月に第2回目をやって、4月に第3回ということで置かせていただいておりますけれども、予定ですので、例えばメールでやりとりするとかいろいろやり方はあると思いますので、そこはちょっと工夫して、できるだけ簡単な形でできればと思っておりますけれども。

板倉委員長 ということで皆さん、できるだけ御参加いただけるとありがたいなど。特に反町委員にイベントのところをお願いしたいと考えております。

よろしいでしょうか。それでは、アンケートをよろしく願いいたします。

その他、御質問等がありましたら事務局のほうへよろしく願いいたします。

4 その他

(1) なかはら区民会議だより第26号について

(2) 平成27年度区民会議交流会について

板倉委員長 次に、その他として事務局から何かございましたらお願いいたします。

事務局 それでは、その他として参考資料3と参考資料4につきまして、事務局から少し御説明をさせていただきたいと存じます。

まず、参考資料3はなかはら区民会議だよりの26号になりますけれども、お手元にお配

りしておりますので、こちらを御確認いただければと存じます。

今回、28年1月1日付ということで、もう既に皆さんのお手元にお配りをさせていただいているかと思えますけれども、なかはら区民会議だよりが発行されましたので、そちらをつけさせていただいております。

中身といたしましては、1ページ、先日、11月7日になかはら一斉クリーンアップ大作戦を実施いたしまして、そちらの報告が1面に載っております。11月7日午前8時半からになりますけれども、毎月第1土曜日に行っている小杉駅周辺エリアマネジメントさんの活動に合わせて、区民会議として実施をしたものでございまして、こちらの中にございますとおおり、150人に至る方が参加していただいたということで、その様子を御報告しております。

2ページ、3ページにつきましては、本日も御議論いただきました今期の2つ目のテーマになっております地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー、こちらの課題調査部会における審議内容について報告をする紙面となっております。いろいろと出していただきました御意見等を載せさせていただいております、案として3つに集約をしているということを今回御報告をしております。

4ページにおきましては、1つ目のテーマ、みんなで町をきれいにとということについての取組の事例といたしまして、先ほどもお話が出ましたけれども、区民祭のときに等々力でのピカ美化大作戦の様子、それとひとみ座による人形劇での美化、リサイクルの活動についても実践の取組として行ってきておりますので、そちらについてを御報告する紙面としてございます。こういった形で、今回26号のなかはら区民会議だよりを作成いたしましたので、御報告いたしたいと思えます。

続きまして、参考資料4になりますが、平成27年度区民会議交流会の開催についてということでございまして、こちらは何度か御説明させていただき、また出欠の確認等もとらせていただいているものでございます。毎年度行っております区民会議交流会は、7区全部を対象といたしまして、区民会議の委員の皆様と交流をいただくことを目的として開催をしているものでございます。今回につきましては、もうじきでございますけれども2月3日水曜日に開催をするということで、内容について少し詳細なものをつけさせていただいております。2月3日の6時からになりますけれども、会場は昨年と同様になりますが、エポックなかはらの7階の会議室においてとり行うことになってございます。タイムテーブルの案につきましては、下のほうにございましておおり6時から開始をいたしまして、懇親会もございまして、懇親会に御出席いただける方につきましては、20時半までおつき合いをいただければと考えております。

毎年皆様お集まりいただきまして、テーブルを少し分けさせていただいて、ほかの区の区民会議の皆様と5～6人でチームを組んでそこでいろいろな御意見をいただくというような形になってございまして、今回もほぼ同様なんですけど、少し趣向が変わりまして、2ペ

ージ、3ページを御確認いただければと思いますけれども、今回はワークショップ形式ということで想定をさせていただきます。

2ページの1、「これからの地域づくりを考えよう～自分でできること、団体（地域）でできること、区民会議のあり方～」をテーマに、各テーブルでワークショップ形式で開催をしていくことを想定しているところでございます。下にワークシートのイメージということで、こういったワークシートを各テーブルに置きまして、皆様に御意見を言うていただくものを附箋に書き出して、ワークシートに張っていくと。類似する意見ごとにまとめていくという形を想定しておりまして、各テーブルにそれぞれ進行役、ファシリテーターがつく予定となっております。3ページにも、そのテーマについての詳細が載っておりますので、後ほど御参照いただければと存じます。

先ほど申し上げましたとおり、交流会に出席と御報告いただいている方につきましては、本日封筒に通知を入れさせていただいて、お手元にお届けしているかと思っておりますので、2月3日当日、御出席のほど、よろしくどうぞお願いしたいと存じます。

事務局からは以上でございます。

板倉委員長 ありがとうございます。

ただいまの説明に御質問、御意見等ございますか。

萩原委員 ほかの区の区民会議での取組、例えばテーマはどういうことをやっていらっしゃるのかというのは、事前にもし情報がわかれば、例えばこんなことはどうなんですかとその場で突っ込んで聞くこともできたりしてお互いにいいんじゃないかなと思うので、日にちもないですけども、わかりましたらありがたいなと思います。

事務局 それでは、ほかの区の今期第5期の審議テーマの内容につきまして確認をさせていただきますまして、例えばメール等で皆様のほうにお送りさせていただくような形でよろしいでしょうか。ちょっとお時間をいただきまして、少しぎりぎりになってしまうかもしれませんが。

板倉委員長 テーマだけでもいいと思うので、ほかの区は防災とか、福祉とか、そういう分類、チーム分けをしてまとめているようなんですね。

事務局 そうですね。各区それぞれやはり課題調査部会のような部会ごとに審議をしているということが多いかと思っておりますので、その部会での審議テーマを確認させていただきたいと思えます。

板倉委員長 それでは、お願いをいたします。

梅原委員 すみません。先ほど言った市民報告会の件ですけども、ほかの会と勘違いしてしまっていて、去年出ましたけれども、中原区の昔の写真、あれは本当におもしろかったです。すばらしいテーマでした。ただ、余り報道されていないんですね。だから参加者が少なかつたんじゃないかなということですから、もう少しこういう報告会がありますということで、きちっと広報すればたくさん人が集まるんじゃないかなと思います。そういうこ

とです。すみません。

板倉委員長 それでは、以上で本日予定しておりました議事は全て終了いたしました。ほかに皆様から何かございますか。まだ時間もあるので。

それでは、ここで区民会議参与の皆様一言ずつお願いをしたいと思います。特に、本日聞いていただいてお気づきの点とか、それから何か指導したいというようなところがございましたら、一言お願いをしたいと思います。

松井参与 きょうの議論の自転車は、我々が歩いていても本当に怖いときもあります。そういった意味で、きょうの議論は非常によかったのかなと思いますし、駐輪場の問題ですけども、昼間は減っているんですけども、逆に新城なんかは駐輪場がなかなかふやせない。空き地がないということで、もうちょっと整備がいるのかなと思いますし、新城の場合、夜非常に自転車が多いんですね。塾があって、それに通う子どもたちが自転車に乗って来られるので、そういったところで、塾の業者さんとかも含めて駐輪場を利用するように、そういうアプローチもしていったほうがいいのかと思います。夜の時間帯、6時から9時ぐらいですかね。本当に1人通るのが精いっぱいというような状況になっています。本日の会議、今回まとめられるということですので、そういうところもまた反映していただければなと思います。

以上でございます。

君嶋参与 県会議員の君嶋です。きょうは、おくれまして申しわけありません。私ども、特別支援学校、昔で言えば養護学校の視察で県内3カ所ぐらい回っていたものですから、遅くなってしまい申しわけありませんでした。

きょうの会議の中身をざっとプログラムで見ますと、それから今のお話を伺いますと、自転車とか交通マナーのことだったと思いますが、去年、中学生が自転車で車道を走っていて事故で死亡したというのがありました。あの例もそうなのですが、確かに自転車が歩行者にとって危険なのでマナーを守れというのはそのとおりなのですが、かといって車道にも危険なところがたくさんあるものですから、その点とても気になっています。ですので、これは法律とかがありますからすぐには変えられないと思いますけれども、自転車に乗っている方の保護というのももう少し考えないと怖いなという場面が多いものですから、そういったことでも皆さんがどう考えていらっしゃるか御意見を聞きたいなと前回も思ったところですので、また機会がありましたら御意見を聞かせていただきたいと思います。

きょうは、中身を余りお伺いすることができませんでしたが、また皆さんとともに住みやすい地域づくりということで学んでいきたいと思っています。ありがとうございました。

板倉委員長 どうもありがとうございました。

ただいまの各参与の御発言については、今後区民会議運営の参考にさせていただきたいと思っています。

ほかに、事務局から何かありますか。

事務局 それでは、次回第8回の区民会議につきまして、先ほどもございましたけれども、予定といたしましては3月22日火曜日、時間につきましては既に送らせていただいておりますが午後2時半から2時間の予定としてございます。通常よりも30分開始時間が遅くなっておりますので、また別途正式に通知は差し上げますけれども、御予定いただきますようお願いしたいと存じます。3月22日火曜日午後2時半から4時半までということに予定させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

事務局からは以上でございます。

5 閉会

板倉委員長 先ほどの市民報告会のアンケートについては日にちがちょっと短いんですが、できるだけ提出をお願いしたいと思います。

皆様に御協力いただきまして、円滑な議事を進めることができましたことを副委員長ともども感謝申し上げます。

これで第7回中原区民会議を閉会します。ありがとうございました。

午後3時45分 閉 会